

指導事例

※ 該当する項目を**囲み線**で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・ 4 ・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・ その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ 自閉症・情緒障害 ・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	休校中における家庭での生活、学習		
タイトル	やってみよう！生活ビンゴ！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	・長期間の休校によって基本的な生活習慣が乱れることが予想される。 ・集中力、注意の持続が難しい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	・学習の課題だけでなく、歯磨きや運動といった生活習慣とも関連付ける。 ・ゲーム感覚で楽しみながら生活、学習の課題に取り組む。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	・家庭内で実行できる課題に絞る。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

・長期休校中に家庭で取り組んでほしい生活、学習の課題をビンゴシートのマスに記入しておく。課題ができると、色を塗っていき、縦、横、斜めのラインでできるだけ多くビンゴができるように取り組ませる。 ＜生活面の課題の例＞ ○朝の歯磨きをする ○お米を洗う ○洗濯物をたたむ ○おうちの人とトランプをする ○鳥の鳴き声を聞く ＜学習面の課題の例＞ ○教科書の音読をする ○漢字の練習 ○算数プリント ○自主学習に取り組む ・枠外には「おうちの方から一言」の欄を設け、保護者にも休校期間中の子どもの様子について振り返ってもらう。 ・1週間分を目処に作成する。いくつビンゴができて、いくつリーチになったかを記録として残していき、取り組みの見える化を図る。さらに、学校再開後に子どもと確認する。 ・実際に取り組んだ上での課題として、一つ一つの課題に対して「○月○日」と日にちを指定した方が取り組みやすいことがわかった。
--

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	登校しない日の自宅学習課題		
タイトル	ひとりでできる「おうち学校」		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	集中できない。 気持ちのコントロールができない。 見通しが持ちにくい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	自分で目当てを持って取り組み、最後までやり通すことができる。 やるべきことを明確に示す。 課題の出来上がりの見通しが持ちやすいようにする。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	課題がわかりやすいように具体物、写真を添付する。 はじめがつけやすく、見通しが持ちやすいように時間割を作る。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

- ・特別支援学級通信（紙媒体）にて、学校の様子、課題の説明などを写真で伝える。
 - <No.1> 「おうちで元気になっていますか」担任からのメッセージ
学校に咲いている花（桜、チューリップ）の写真で春を届ける。
 - <No.2> 「学校が始まったらよろしくね」養護教諭、図工教諭からのメッセージ
学校に咲いている花（ビオラ）の写真で春を届ける。
 - <No.3> 「体操をしよう」
教師がモデルになっておうちでできる体操を紹介する。
 - <No.4> 「学級園に夏野菜を植えよう」
教師が夏野菜の苗を植えている様子を写真に撮り、苗を植える順番を考えられるようなワークシートを作成。
 - <No.5> 「6月の壁面飾りを作ろう」
カエル、カタツムリ、アジサイの折り紙の作り方を教師の写真で説明。
 - <No.6> 「もうすぐ学校が始まるね。まってるよ！」担任からのメッセージ
- ・「おうち学校をしよう」と名付けて、時間割を組む。具体的に「国語（本読み“こまを楽しむ”）（漢字“号”）」「理科（ワークシート“たねのかんさつ”）」「道徳Eテレ」など、時間割表に課題の内容を書き込んで、1週間ごとに届ける。どうしても、課題に取り組みず後回しになってしまう子どもたちが、計画的に課題を進められるようにする。

・課題の工夫

- 「たねをまこう」の学習において、観察のための種（ほうせんか、マリーゴールド、ひまわり）を届けたり、種の植え方を写真で示してワークシートにまとめやすいようにする。
- 「チョウの育ち」の学習のためにモンシロチョウの幼虫とキャベツをペットボトルに入れて届ける。各自観察を続け、虫に関心のない児童の助けとする。実物を見て絵を描くことがむずかしい児童のために写真を示す。
- 教科書を見て、まとめやすいワークシートを作成。教科書のどの部分を見たらまとめられるかがわかりやすいように、印をつけて提供する。漢字が読みにくい児童についてはルビを打った教材を用意する。

おうち学校 時間割表

	5月19日（火）	5月20日（水）	5月21日（木）	5月22日（金）	5月25日（月）
1	国語 漢字「整」「相」 本読み 「こまを楽しむ」 理科 Eテレ 9：15～	国語 漢字「落」「着」 本読み 「こまを楽しむ」 社会 Eテレ 9：10～	国語 漢字「洋」「服」 本読み 「こまを楽しむ」 ワークシート 「こまを楽しむ」 ④	国語 漢字「遊」「全」 本読み 「こまを楽しむ」 道徳 Eテレ 9：10～	国語 漢字「短」「世」 本読み 「こまを楽しむ」 ワークシート 「漢字の広場」
2	理科 「チョウの育ち」 さなぎの かんさつカード	体育 Eテレ10:00～ 「はりきり 体育ノ介」 「おうちで体を うごかそう」	外国語 Eテレ 9:50～ 9:55～ 図工 折り紙をしよう カエル、あじさい かたつむり	理科 かんさつカード ホウセンカ ひまわり マリーゴールド	体育 ラジオ体操 「おうちで 体をうごかそう」
3	算数 プリント カだめし 「3桁になる たし算①」	算数 プリント カだめし 「3桁になる たし算②」	算数 ノート ⑬ ⑭ プリント 「何円になるの かな」	算数 ノート ⑮ ⑯	算数 ノート ⑰ ⑱
4	社会 ワークシート 「〇〇市の 町の名前」	国語 ワークシート 「こまを楽しむ」	社会 プリント 「地図記号」	国語 ワークシート 「漢字の広場」	国語 日記 「きょうの できごと」
おひるごはん（じゅんびもてつだいましょう） そうじ （おひるごはんのあとかたづけ、べんきょうどうぐのせいり）					

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	算数や国語の授業、生活面の支援		
タイトル	臨時休業中！生活＆学習のリズムをつくろう！！		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	臨時休業中の学習課題について、補助がいる。また、学習や生活面で、リズムが崩れかけている。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	決まった時間に先生とつながり、算数や国語の授業をオンラインで行う。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	オンラインでつながり、学習と生活面の支援を行う。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

（教員1名、児童1名の自閉症・情緒障害学級）

事例の内容説明

学習面と生活面の両方を支援するため、週3日程度、午前9時から10時までの間、オンラインで児童とつながった。

オンライン授業の内容

- ① 1時間の流れを確認し、1時間以内に終わることを告げる。
- ② 健康観察（就寝時刻、起床時刻、朝ごはんなど）
- ③ クイズ、脳トレ、雑談など
- ④ 国語→音読、言語事項の学習（ワークシートやミニホワイトボードを使用）
- ⑤ 算数→小数かけ算のひっ算の仕方など（ラミネートやホワイトボード、電卓、ワークシートを活用）
- ⑥ 1時間のふりかえり

成果と課題

○決まった時間につながることで、1日の流れができ、生活面でメリハリができた。（保護者の方より）

○4月に担任が変わり、お互いに人間関係の構築がまだできていなかった。オンラインで話をするすることで、少しずつ打ち解けていった。

○健康観察や生活面のチェックはもちろん、学習面でも支援できた。（保護者も一緒に支援してくださった。）

△対面ではなかったなので、児童の気分や機嫌が分かりづらかった。

△学習面の定着度、児童の困り具合やつまづきがわかりにくかった。



オンラインで小数のひっ算の仕方を指導（児童にも同じものを渡しておく）



オンラインで音読



オンラインで
今日の予定を知らせる。

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・ 自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	学習場面		
タイトル	臨時休業中の取組		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	・一人で学習に取り組むことが難しい。 ・感情のコントロールが難しく、状況判断や相手の気持ちの理解が難しい。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	・休業中は一人でも学習に取り組むことができるように、学習する内容を明確にし、新しい学習内容より復習に重点をおき取り組んだ。 ・コミュニケーションを円滑に図ることができるように、ソーシャルスキルトレーニングの時間を確保する。(動画配信や学校の授業中にも取り組んでいる。)		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組	・休業中の児童とのやり取りは、電話連絡、動画配信を行った。課題を配布する際には、家庭訪問を行い玄関に封筒を置き、直接会うことがないよう配慮した。 ・学校再開後は、毎日教室内の消毒を行うこと、マスクの着用、席の間隔を空ける等の対応をしている。		

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

1 ○○っ子1日の過ごし方表（時程表）を配布した。（全校生配布）

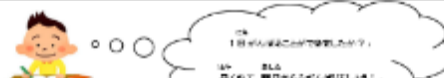
学校が休業中の間も、規則正しく生活を送ることができるように、できる限り学校での生活リズムに近い時程表を作成し配布した。チェック表も配布し、課題配達日に回収し、子どもたちがどのように過ごしているか確認をした。

○○っ子 休校中の1日の過ごし方(時程表)

★必ず守って、規則正しく生活しましょう。＜○○さん用＞

6:30	起床
6:30-8:00	朝の準備(洗面、歯磨き、着替え)
8:00-9:00	① 体操トレーニング ② 漢字の学習 (8年漢字ドリルに書き込み3ページ) ③ 算数の学習 「計算練習問題集」(読んだ後、算数範囲カードに思ったことを書く)
10分休憩	
9:10-10:00	各学年の課題1冊のなぞり書きやうし書きなど ・「竹のよう」5月の詩 なぞり書きプリント 16日にする ・「竹のよう」5月の詩 なぞり書きプリント 17日にする ・「わかば」3年教科書1ページ なぞり書きプリント 18日にする ・「わかば」なぞり書きプリント 19日にする ・「どきん」3年教科書12ページ なぞり書きプリント 20日にする ・「どきん」なぞり書きプリント 21日にする ※動画配信授業は、お家の環境に合わせて行いましょう。
10:10-11:00	① なわとび 15分 (なわとびカードで、壁にチャレンジ！) ② 読書 10分 (たぐさんの本を読もう！) ③ 漢字学習 20分 (自分で考えて取り組もう！)

11:00-13:00	休憩 : お昼ご飯やお昼の読書など
13:00-13:20	① 百人一首 (1日5首覚え) ② 2、3年 ビデオの練習、4-5年 リコーダー練習
13:20-14:00	各学年の課題② ・算数プリント2枚 ・これまでのプリント、(漢字・算数)算数ドリルトレーニング問題集のまらがい直し
10分休憩	
14:10-15:00	① 本読み (四国のお話、おの教科書、3月・4月・5月の詩の読解) ② どんどん学習(ローマ字練習をする)
15:00-17:00	自由時間 おやつタイム、外へ遊びに行く、ゲーム30分など ※1日分の宿題が終わっていない人は、終わらせてから自由時間
17:00-17:30	1日のふりかえり作文 (絵日記や作文など)
18:00-	① 家族と過ごすタイム ・お手伝い・夜ご飯・お風呂、歯磨き ・米田小学校のホームページを見る ・家族の人と一緒に一日をふりかえり、明日の目標を立てよう



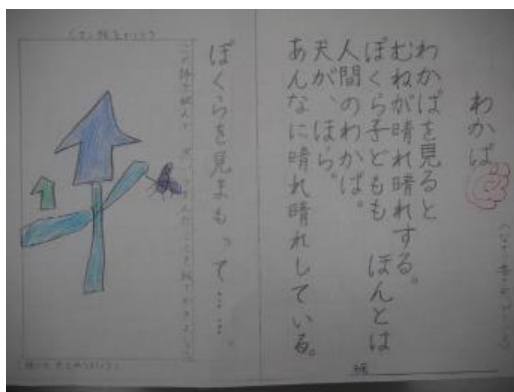
資料1 ○○っ子 休校中の1日の過ごし方

2 心の安定を保つための動画配信をする。

画面上ではあるが、4人の児童に対して声かけをしたり、絵本を読んだりして学校に登校することを楽しみして過ごせるようにした。

3 学力保障

これまでに学習したことが定着するように（忘れてしまわないように）家庭でできる学習を考えてワークシートを作成したり、復習プリントを印刷したりして配布した。また、家庭でするには困難だと思う内容については、学校のホームページから動画配信をして、それを見ながら学習できるようにした。



4 学校再開後に学習の成果を発表

作品展や百人一首大会、詩の暗唱、1年生歓迎集会での演奏披露等休校中の学習の成果を発表する場を設定した。

指導事例

※ 該当する項目を囲み線で囲ってください。

学びの場	特別支援学級・通級による指導・通常の学級・その他		
校 種	小学校・中学校	学 年	1・2・3・4・5・6年
指導場面	授業・学級活動・学校行事・学校生活・その他		
障 害 種	弱視・難聴・知的障害・肢体不自由・病弱・言語障害・自閉症・情緒障害・学習障害・注意欠陥多動性障害・その他		
教科・行事名等	臨時休業に伴う家庭での見通しについて		
タイトル	学校再開に向け、見通しをもち過ごそう		
児童生徒の障害による学習上・生活上の困難・課題	スケジュールに見通しをもち過ごすことが苦手である。		
上記困難・課題を踏まえた指導の目標・配慮事項	急な臨時休業の延長にも、見通しをもち対応することができる。		
上記困難・課題を踏まえた感染拡大防止の取組			

※ 以下に事例の内容説明を簡潔に記入ください。

①月間の予定を「巻物カレンダー（写真①）」を使用して、見通しをもち過ごせるように掲示をする。とくに、自閉傾向の強い児童に関しては、春期休業後の登校に向けて見通しをもって過ごせるように、4月に配布を行った。 ②情勢が安定しない中であったため、臨時休校が延長した場合に、予定を再構築できるようにした。 （休校が延長した場合、ウイルスのカード（写真②）を上から貼って、登校の予定が休校の予定に変更することがわかるように、休みのカード（写真③）を上から貼れるようにした。） ③児童が家庭でパニック等を起こさないように、保護者と連携をとり、休校が延長になった際に説明ができるように巻物カレンダーの使用方法について共有した。
--

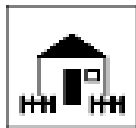
写真①

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
すい	もく	さん	ど	にち	げつ	か	すい	もく	さん	ど	にち	げつ	か	すい	もく	さん	ど
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
																	
																	
																	

写真②



写真③



※家庭で説明をする際の完成イメージ

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18
すい	もく	さん	ど	にち	げつ	か	すい	もく	さん	ど	にち	げつ	か	すい	もく	さん	ど
水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
																	
																	
																	